

作成日 2024 年 10 月 25 日
(最終更新日 2024 年 10 月 25 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5096

課題名 : 次世代シーケンサーを用いた新型コロナウイルスの伝播経路予測と伝播リスク同定

1. 研究の対象

2022 年 4 月～2023 年 3 月までに防衛医科大学校病院に入院された方または勤務された方で、2022 年 4 月 (東 8 階病棟)、2023 年 1 月 (西 8 階病棟) に発生した新型コロナウイルスの院内クラスターにおいて新型コロナウイルス陽性と判定された方を対象とします。

2. 研究期間

2024 年 11 月 (研究実施許可日) ～2026 年 3 月

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 2024 年 11 月 19 日

4. 研究目的

新型コロナウイルス感染症において、感染症患者が集団発生するクラスター (アウトブレイク) は依然として医療機関、福祉施設等において大きな問題となっています。クラスターが発生した際には、患者発生状況の情報などを収集し解析する疫学調査が実施されることが多く、特に感染症法上における 5 類感染症になるまでの間は、アウトブレイクが発生した一部の施設において、行政や専門家を中心として疫学調査が行われ、不適切な个人防护具の使用、不十分な消毒や換気など様々なリスク因子が同定されてきました。

近年では、より低コストにウイルスの全遺伝子情報が取得できる次世代シーケンサーが開発されたことにより、陽性者の情報だけでなく、検出された病原体の遺伝子情報を用いることで、より正確に伝播経路を予測する試みが行われています。

我々の研究グループでは、過去に当院で検出された新型コロナウイルスを解析し、発症時期や検体を採取した日付情報とあわせて、病院内で誰から誰へ広がっていったかを分析する試みを行います。さらに、作成した伝播経路の予測図をもとに、新型コロナウイルスの伝播にかかるリスクを評価する目的で研究を行うことといたしました。

5. 研究方法

当院において、診断のために採取した鼻咽頭ぬぐい液などの臨床検体から分離された新型コロナウイルスの遺伝子情報と、入院期間や検体採取時期の情報を収集し、PC 上でサイズ推定の理論を用いたプログラムにより伝播経路予測図を作成します。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、入院期間、入院中の病名、入院病棟、発症日、
陽性者との接触歴 等
試料：鼻咽頭ぬぐい液 等

7. 外部への試料・情報の提供
該当なし

8. 研究組織
本校単独研究

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

当院では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は科学研究費助成事業（科研費）です。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ご了承いただけない場合、得られた試料・情報は全て破棄します。ただし、ご了承いただけない旨の意思表示があった時点で既に研究成果が公表されていた場合など、データから除けない場合もあります。研究への利用を拒否することを決められた場合、下記の連絡先までお申出ください。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院 医療安全・感染対策部 藤倉雄二

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 3405）電話対応時間 9時から 16時

fujikura@ndmc.ac.jp